

## 地域経営推進費 事業評価結果一覧表

盛岡広域振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	第21回全国藩校サミット盛岡大会開催事業	盛岡市	7,600,000	3,500,000	5 市町村事業	14 国体・障害者スポーツ大会	ソフト	これまで関心が向けられてこなかった盛岡藩校作人館に関する様々な媒体を通しての周知活動や、楽しさとわかりやすさを心がけた大会各プログラムを通じて、市民が地域の歴史について学びを深め、先人教育をはじめとする盛岡市の魅力を全国に発信する機会とすることができた。特に、盛岡市立小中学校児童・生徒に対して、藩校教育の精神や地域の歴史について先人教育と関連させながら情報発信できたことは、シビックプライドの涵養を促す点でも大きな効果があった。
2	芸術・伝統文化体験事業	盛岡市	2,200,000	1,100,000	5 市町村事業	14 国体・障害者スポーツ大会	ソフト	事業実施後のアンケートでは、参加して良かったと答えた子供及び参加させてよかったと答えた保護者はいずれも100%だった。また、この事業を通して、文化や芸術への関心が高まったと答えた子供の割合も100%であり、参加した子供・保護者からは非常に満足度の高い事業を展開することができた。
3	盛岡市自然環境調査事業	盛岡市	8,040,000	4,020,000	5 市町村事業	10 環境	ソフト	生息状況の現地調査において、周辺自治体の住民が参加し、調査事業者の同行により調査方法などを学ぶ機会となった。現在、県内の生物同好団体によると生物調査ができる者が減ってきているとのことであり、このような状況のなか、本事業を通じて、調査手法を学ぶ機会を住民に提供できたことは、事業終了後も、住民が生物の生息状況を自ら把握し、環境学習の機会を継続して得ることができることから、環境啓発の持続効果は大きい。次年度以降も本事業において、市民向け投稿型調査や親子を対象とした環境講座を行い、環境学習の機会を提供する。
4	日本遺産奥南部漆物語推進事業	八幡平市	2,000,000	976,000	5 市町村事業	13 県際・圏域間での連携	ソフト	各事業を実施することで、「奥南部漆物語」の魅力を発信し、活気あふれる地域を形成することにつながることができた。特に、市外で実施した赤レンガ館でのイベントでは、奥南部の伝統工芸や伝統芸能に触れてもらう機会とすることで、実際に現地に足を運ぶきっかけづくりの場となった。今後、さらなる地域の活性化に努めていく。
5	販路拡大事業	八幡平市	1,499,300	999,000	5 市町村事業	4 地場産業	ソフト	初めての開催であり、会場や参加事業者との調整に時間を要し、周知期間が短くなったことが反省点としてあげられる。また、近隣自治体の食材を味わうイベントと同時期での開催となったことで、参加者が分散した可能性も考えられることから、開催時期や会場の選定について再考の余地が残った。一方で、姉妹都市の宮古市の食材も組み入れたことで、相互に弱い部分を補うことができ、単独開催以上の宣伝効果が得られたといえ、広域的に連携することのメリットを確認することができた。
6	観光人材育成事業	八幡平市	1,200,000	800,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	将来に向けて地元八幡平市の観光分野を活性化させるための人事育成を図るため、岩手県立平館高等学校において高校生に向けた観光資源を中心とした地域資源に関する十分な学習機会を提供できたと評価している。地域のことを体感的に知ることで(見て、聞いて、触れる等)、周知を深め、地域資源から観光に関わる商品開発・販売実習などの取り組みや、地域観光の課題解決に意識をむけた、探究的・協働的な学習を行い、観光を軸としながら地域の活性化のためになる若手人材育成事業ができています。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
7	バックカントリー環境整備事業	八幡平市	2,299,000	1,104,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	旧八幡平スキー場エリアにおける事故件数については、当該エリアの日々の天候等や、クラックの情報発信を行い、発信方法についても、従来の発信方法を大黒森管理協同組合のホームページにリンクさせたことで、より状況を広く周知できたことが実績につながったと思われる。 外国人観光客の入込数については、過年度から継続的にSNS等による情報発信を行ってきたことにより、外国人観光客に対する知名度を築いてきたことで、インバウンド需要増加の受け皿になることができたと思われる。
8	安比高原遊々の森活性化事業	八幡平市	1,000,000	666,000	5 市町村事業	10 環境	ソフト	定期的な刈払い、外来種駆除により自然環境、生態系の維持を行うとともに、これらの自然環境を通じた県内外の来訪者への環境保全の普及啓発に取り組むことができた。また、ハロウ安比校のサマーキャンプが行われたほか、東京のインターナショナル校が来訪するなど多言語情報取得を容易に行えるよう周知したことは有意義な取組であったと思われる。 併せて、地域団体による自然環境の維持管理は地域交流の一助となり、市として団体を支援することは豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会づくりにおいて有意義な取組みであったと思われる。
9	特産品開発・販売促進事業	八幡平市	1,650,000	1,100,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	商品を購入したタレントのファンの中には、パッケージに印刷された観光名所を訪れ名所の写真をSNSで発信したファンがおり、魅力の発信、若年層の観光需要の喚起、当市への誘客に効果があった事業になったと捉えている。
10	クアオルト推進事業	滝沢市	5,918,657	2,959,000	5 市町村事業	7 地域医療・健康づくり	ソフト	クアオルト健康ウォーキングの単独開催ではなく、「運動」「栄養」「休養」を組み合わせた複合開催の方が参加者数が多くなったことから、次年度以降では、より参加者の興味関心を引くようなプログラムの開催を検討する。 今年度は、民間事業者への委託事業としてクアオルト健康ウォーキングを通じた「市民の健康づくり」と「交流人口の拡大」に取り組んできたが、来年度からは「市民の健康づくり」は保健師職員等による担当課事業として取り組む。また、「交流人口の拡大」は民間事業者による自主事業として取り組み、双方の良さを生かした事業展開を進める予定。
11	防犯灯木柱更新事業	滝沢市	7,497,600	3,748,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	ハード	防犯灯木柱の早急な更新は、住民の安全確保という面で本市が抱える重要な課題であったため、本事業を令和4年度から継続して実施できたことは、住民にとって安全で安心できる生活環境づくりに寄与したものと評価できる。
12	農業担い手育成対策事業	滝沢市	682,000	341,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	事業実施以前は、滝沢市の農業及び就農に係る情報がまとまったものがないこと、滝沢市での就農のPRを広範囲にできるものがなく、効果的に情報を届けられていないことが課題であったが、本事業を実施したことで、滝沢市で農業を行う魅力をPRするためのツールを得ることができ、高齢化による担い手不足に拍車がかかっている市農業情勢ではあるが、今後の新規就農者確保が期待できる。今後、これらのツールを効果的に使用し、多くの新規就農希望者の目に届くよう積極的に活用していきたい。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
13	滝沢市サイクルツーリズム推進事業	滝沢市	1,203,250	601,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	概ね事業計画通りに事務を進めることができたものの、自転車を観光として活用する認知度が低い。岩手山麓を巡る体験を伴う自転車イベントでは収穫体験等の体験活動を取り入れ、県央広域サイクリングルートと連携したコース選定を行い実施した。本市の抱える観光コンテンツの独立に良いアプローチができた。初年度ということで、関係機関との調整が上手くいかず周知期間が短くなった。次年度以降は今年度の実績をもとに年間のイベント計画を策定し各イベントにおいて情報を発信していく。
14	雫石町×SDGs×DXチャレンジアップ事業	雫石町	133,180	66,000	5 市町村事業	14 国体・障害者スポーツ大会	ソフト	全ての目標値を達成し、地域住民や来場者へのSDGs普及啓発活動を効果的に推進出来た。今回の取り組みにおいて、スマホの操作に不慣れな高齢者層へのサポートが課題として感じた。今回は、案内スタッフの増員や簡単な説明書の配布など、さらなる改善を図る。また、SDGsの17のゴールにまつわるクイズの内容も、次年度は雫石町に関連する内容にし、参加者にSDGsをより身近に感じていただけるよう改善する。
15	東京芸術大学音楽創生交流事業	雫石町	3,355,340	491,000	5 市町村事業	14 国体・障害者スポーツ大会	ソフト	指標にはないが、今回の事業により、雫石中学校吹奏楽部の演奏技術が向上し、岩手県吹奏楽コンクール盛岡地区大会では小編成の部で第二位(金賞)を受賞し、県大会でも12年ぶりの金賞を受賞し、部員の音楽活動への意識の変化も十分に感じられた。また、地元合唱団(主として高齢者)と学生とのコラボレーションも多くの町民にみて頂くことができ、地域の活性化に繋がった。
16	雫石中学校虹色コンパスふるさと学習支援事業	雫石町	669,900	334,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	令和6年度は最初の実施年度であったが、連絡調整を随時行ったことで概ね計画通りの実施とすることができた。今後は受け入れ先企業・団体を町内から近隣自治体まで拡大することで、更なる選択肢と経験を生徒に提供できるよう対応を図る。
17	鶯宿温泉地域活性化事業	雫石町	1,600,000	800,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	当該事業の支出額は2,011,302円で、その財源として町は交付金を1,600,000円追加交付決定し、差額の411,302円は観光協会が支出した。地域内の事業者同氏が連携して事業を実施した成果は、今後の鶯宿地域の地域活性化を推進するうえで非常に意義であったと捉えている。また、鶯宿温泉の事業者が鶯宿温泉のオリジナル商品を取り扱う動きがあることを踏まえ、しずくいし観光協会が中心となり、食と観光によるさらなる地域活性化の取組を企画していけるよう、町は継続して支援を行う。
18	若者関係人口創出事業	葛巻町	2,894,826	1,929,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	概ね事業計画通りの遂行ができたものであり、選定した地域住民と学生が良い関係性で交流や事業を実施できたもの。今後、継続する上での今年度以上の広がりをもとに生み出していくかが課題となると考えるもの。
19	高等学校教育振興事業費補助金	葛巻町	3,000,000	2,000,000	5 市町村事業	14 国体・障害者スポーツ大会	ソフト	派遣生徒5人の定員に対し10人の応募があり、葛巻高校生の事業に対するの関心の高さが伺えた。また、研修後に参加生徒が他の生徒や中学生らに自らの体験を積極的に共有したことで、参加者だけの経験にとどまらず、多くの中高生の国際社会への関心や国際交流への意欲向上につながった。
20	鳥獣被害防止電気柵設置事業	葛巻町	2,310,000	1,493,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	野生鳥獣の有害捕獲頭数は年々増加しているが、それぞれの農家が対策を講じなければ被害の抑制は難しい状況である。電気柵の設置は、野生鳥獣による農作物被害を最小限にするための一つの有効手段であり、今後も電気柵の設置を積極的に呼びかけ、地域産業の維持・活性化を図っていく。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
21	畜産労働力負担軽減対策事業	葛巻町	11,560,000	3,333,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	老朽化している設備の更新には多額の費用がかかることから、整備に対する支援を行うことで、労働力の負担軽減と省力化を図ることができた。 次年度においても継続し畜産農家の収益性向上につなげていきたい。
22	持続可能な地域づくり支援事業	葛巻町	522,000	348,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	地域課題の1つである「買い物支援」については、スーパーくずまき協同組合の取組みが、1つのモデルケースとして期待されることである。しかし、現在、事業として収支が成り立つ状況ではないことから、当面の間、行政の支援が必要であるとともに、事業として成り立つよう、創意工夫が必要である。 また、買い物支援のほか、交通や産業振興など、地域課題の解決を図る各種事業及び団体の発掘に取り組んでいく必要がある。
23	飲食店等魅力向上支援事業	葛巻町	2,970,000	2,227,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	くずまき鍋提供店の指導に関しては、再度南部鉄器の使い方の確認や調理行程の確認を行い、イベントでも全店舗で提供することができた。 町内飲食店への指導に関しては、飲食店からの要望等を聞きながら指導を行うことができ、飲食店の魅力向上(メニュー数増や料理人の技術向上、店内の雰囲気づくりなど)につながった。
24	特産品を活用した観光コンテンツ開発事業	葛巻町	1,094,412	820,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	葛巻高校生が検討した内容のツアーを行い、当日も高校生が対応し、参加者からは非常に満足との評価をいただいた。 また町の誘客や知名度向上にもつながった。アンケートの集計結果をもとに、来年度以降のツアー造成を検討していきたい。
25	町産業まつり開催事業	葛巻町	2,500,000	258,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	ヒーローショー等を行ったことで、これまで来客の少なかった世代(園児や小学生)の集客につながった。 また、「くずまき鍋&ご当地グルメフェア」で、くずまき鍋全提供店及び近隣市町村の特産品の販売を行うことができ、地域の食文化の魅力を発信すると同時に、地域の賑わい創出や商工業の振興を図ることができた。
26	畜産振興事業費補助金(牛ゲノム検査支援事業)	岩手町	400,000	266,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	飼養頭数の多い特定の大規模農家での利用が大半を占めており、中小農家への浸透及び利用には時間を要する。また、ゲノミック育種価が高い牛については、全国的には平均よりも高値で取引される傾向にある。しかし県内市場に於いては、隣県に比べゲノム情報の開示について未整備な面があるため、仮にゲノミック育種価が高評価であっても市場価格へ反映されにくい点も利用率が低い要因の1つとして推測される。引き続き利用促進に努めていく必要がある。
27	田んぼアート実践支援事業	岩手町	4,472,675	2,000,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	全体を通して来場者数の増加及び滞在時間の延長を図ることができた。田んぼアート事業のレベルは向上しているが将来の資金確保、より世間を知ってもらうための周知方法など課題は残る。昨年より次年度からは当実行委員会の活動を広く広報し、岩手町の魅力アップにつながるよう尽力していきたい。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
28	いわてまち里川キャンプ2024	岩手町	727,081	340,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	班編成は同じ小学校の児童と一緒にならないよう配慮し他校児童と進んで行動するようにした。期待の川あそびは2日目まで中止になったが、児童たちの切替は早く、収穫体験や昼食準備、ニュースポーツ「モルック」等に夢中になって取り組み、積極的に協力し合い活動した。今回は、公用バスを最大乗車人数まで利用し、参加定員を97名から105名まで拡大。しかし参加希望者ははるかに多く、次回は実施する体制や内容について一層検討を重ねたい。アンケート調査の本年度の満足度は概ね80%であった。本事業が本町や盛岡広域市町村にとって一層有益な事業となるよう、来年度も継続して実施したい。
29	公営塾「ゆはず未来塾」事業	岩手町	4,707,450	3,138,000	5 市町村事業	14 国体・障害者スポーツ大会	ソフト	ゆはず未来塾は、開塾して3年を経たが、2年に渡る進学実績の増加等により下級生の塾生が増加している。このことは、沼宮内高校生の学力向上への意識と大学進学意識の高まりに寄与していると言えるし、生徒の学力向上意識の高まりにより沼宮内高校の魅力化向上へも寄与した。
30	岩手町デリバリープロジェクト事業	岩手町	2,500,000	1,666,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	高齢化の進む町内山間地域への配達ニーズの確認、町内全体の見守り活動が実践できた。今後、周知方法の工夫や参加店舗の開拓に努め、事業効果を拡大していく。
31	アイルランドフェスティバル開催事業	岩手町	900,000	600,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	昨年度に引き続き、秋の町産業まつりにおいてハロウィンとアイルランドとの繋がりを町民に紹介することができた。また、アイルランドから来町した高校生もイベント参加し、町民とふれあう場面も見られた。3月には当フェスをキャベツマンマルシェと同時開催することができ、今までにない来場者数となった。町外からの来場者も多く、近隣市町村から来た外国人の方々もいた。多くの若者が来場しただけではなく、主催側のスタッフや関係者も若い世代が中心となって運営できた点は非常に評価できる。今後も町の賑わいや活気を生むために本事業を継続していきたい。
32	インバウンド推進に向けた観光プロモーション事業	紫波町	6,578,000	3,289,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	目標達成に向けて十分に効果があった。 なお、成果指標の令和6年度実績が低下した理由は、外国人が多く訪れている宿泊施設においてリフォーム工事が行われたことにより、休業期間が長く発生したためである。
33	組織化に向けたアドバイザー事業	紫波町	2,574,000	1,287,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	今年度は、地域運営組織の形成までには至らなかったが、組織会員の意識の向上を図ることができた。特に佐比内地区では、組織の作戦書づくりや先進地視察を行ったことにより会員の共通認識の形成や住民主体の地域づくりの促進につながった。一方で、作戦書を作成したものの誰が実施していくのかはまだはっきりとみえていないこと、農業などの部門も関わっていくことから、地域運営組織の設立に向けては、地域内の関係団体の巻き込み方にも注意しながら、組織体制の検討を進める必要がある。片寄地区では、引き続き若手中心に地域づくりに関わる人材の育成及び発掘を行っていく必要がある。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
34	市民活動組織合意形成能力向上業務	紫波町	1,292,500	646,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	<p>合意形成力向上業務は、地域からの要望による話し合いの場づくり支援に見られるように、話し合うことで意見や思いを共有することの価値を実感し、新しい関係性づくりへとつながった。このような場づくり支援のニーズは高く、本事業を継続することで、地域における話し合いへの意識が高まり、多様な声を取り入れながら、主体的に取り組む地域活動につながることを期待される。また、合意形成ツールの作成支援では、活動団体が明確な目標の下に活動を進めることを整理できただけでなく、中間支援組織としての役割を確認する機会にもなった。</p> <p>ファシリテーター養成講座では、受講者全員が活動実践者または明確な目標の下にこれから活動しようとしている人材で、プロセスデザインの過程を経験できたことは大きな収穫になったようで、振り返りにおいても達成感が見られた。また、受講生からフォローアップ講座の要望が出されたのは、講座で得た知識を実践に生かしたいという意欲の表れで、今後の地域での活動に期待がもてる。</p> <p>地域の合意形成力の向上を図るには、話し合いの場づくりをデザインする中間支援人材の育成・支援と、話し合いに参加する地域の人々の意識の醸成の双方が必要であり、今後も地域のニーズに的確に応じた支援の機会を創出していく。</p>
35	インクルーシブコミュニティ形成事業	紫波町	1,382,400	691,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	<p>看護師の資格をもつ「コミュニティナース」を中心にコーディネーター(看護師、農家)と連携して幅広い活動ができており、一般参加者だけでなく町内外から視察も多く、メディアにも取り上げられ本事業の注目度が高まっている。</p> <p>誰でも参加しやすい雰囲気づくりや活動ができており、畑だけでなく、地域の公民館と連携することでより地域に根ざしたコミュニティの場づくりを行えている。</p>
36	リノベーションまちづくり起業支援体制構築事業	紫波町	532,730	266,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	<p>町では令和6年度に中小企業振興条例を制定し、中小企業の発展が地域経済の発展と町民生活の向上につながることをとし、中小企業を支援していくことを明確とした。今回、中小企業の経営力向上を目的としたセミナーや中小企業振興条例のシンポジウムを開催できたことにより、来年度実施する町や事業者、関係団体で組織する中小企業振興会議の土台づくりを行うことができた。町は交通の便が良いことから、商工会への起業の相談が多いと言われている。起業、第二創業、事業継承の支援体制を強化し、町内での起業や遊休不動産の活用など活発に行われるよう事業展開をしていく。</p>
37	紫波町食育・地産地消推進しくみ化事業(しくみ構築期)	紫波町	521,555	260,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	<p>補助事業活用団体間の連携がすすみ、事業終了後も意欲的に活動を継続する傾向がみられたことから、食育・地産地消実践者のネットワークを構築することができた。</p> <p>農業体験プログラム実施から児童施設と生産者の交流が生まれ、児童施設での給食に町産食材を使用に結ぶつくだ食育から地産地消につながる活動にすることができた。</p>
38	JR日詰・古館駅利便性向上事業	紫波町	1,008,482	504,000	5 市町村事業	10 環境	ソフト	<p>仮設トイレは、鉄道利用者を含む町民に利用されている。汲み取り実績から、1基あたり1日平均3～10人程度が利用していると推察される。駅舎付近に仮設トイレを設置したことで、事業設計当初の課題であった駅周辺での不適切な排泄行為は改善され、駅周辺の事業所におけるトイレ借用のみの来客対応の負担も軽減された。今後も、鉄道利用者を含む町民が、必要な時に駅トイレを利用できる環境を維持してまいりたい。</p>
39	あづまねエリアブランディング推進事業	紫波町	1,210,000	605,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	<p>目標達成に向けて十分に効果があった。</p>

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
40	矢巾町企業立地ビジョン・産業団地適地選定調査事業	矢巾町	9,845,000	4,922,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	事業者へのアンケートやヒアリングを通じて、事業者が自治体に求める支援のあり方を把握することができ、要請事項の一部について今後の検討事項は残るものの企業立地推進ビジョンに反映することができた。 新たな産業団地開発にあたっては、解消すべき課題は存在するが、早期の用地確保に向け関係者協議を継続する。
合 計			114,051,338	56,493,000				